

# 勝新太郎「座頭市」、中村玉緒&松平健と夢競演！ 日本に世界の注目が集まる2020年、最新CG技術で“復活”！



## 時代劇専門チャンネル

### テレビCM 第3弾「時代劇篇」放送決定!!



## 2020年1月より 民放BS局、ローカル局、WEB等で順次オンエア・公開！

日本映画放送株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 杉田成道）は、運営する有料専門チャンネル「時代劇専門チャンネル」のプロモーションとして、松平健さん、中村玉緒さんが出演するテレビCM第3弾「時代劇篇」を、2020年1月より、全国のテレビ局\*で順次放送いたします。さらに、時代劇専門チャンネル公式ホームページでも公開いたします。

\*各地の民放BS局、ローカル局、独立局などで順次オンエア予定

時代劇専門チャンネルは2018年7月から、松平さんと玉緒さんの出演する芝居仕立てのテレビCMを制作、テレビ各局で放送して参りました。2人が医師と看護師に扮した第1弾、そして夫婦漫才に挑戦した第2弾の大好評を受け、第3弾の制作が決定しました。

今回のテーマは、ズバリ「時代劇」。玉緒さんが「奥方」を、松平さんが奥方を守る「剣士」役に扮し、松平さんは華麗な殺陣を披露。さらに、伝説の時代劇スター・勝新太郎（1997年没・享年65）の代表作「座頭市」が、最新CG技術で“復活”。「奥方」の窮地を救うため、スピーディーな殺陣を繰り広げます。

勝新太郎は、中村玉緒さんの最愛の夫であり、松平健さんが若き頃に時代劇を学んだ師。そして没後20年以上たった今なお、日本国内のみならず、海外でも絶大な支持を集める伝説の時代劇スターです。そんなカツシんと、ゆかりの深い俳優たちによる“夢の競演”が、世界から日本に注目の集まるオリンピックイヤーの2020年、ついにCMで実現します。

またCMでは、時代劇専門チャンネルで2020年2月8日（土）に放送予定の史上初8K制作オリジナル時代劇「帰郷」（原作：藤沢周平、主演：仲代達矢、監督：杉田成道）をはじめ、勝新太郎「座頭市」、松平健「暴れん坊将軍」ほか、好評放送中の名作の数々も紹介いたします。

## 【松平 健 コメント】



私は 21 歳のときから勝先生にお世話になりまして、1975 年に「座頭市」でデビューさせていただきました。勝先生は「座頭市」で誰もまねできないことに挑戦されていましたし、時代劇の面白さを知ったのは、まさにその頃でした。

そして、師匠の奥様でいらっしゃる中村玉緒さんとの”時代劇”での共演は、「暴れん坊将軍スペシャル」で母子役を演じて以来、今回が本当に久しぶりで、すごうれしかったです。しかも今回は「家臣」ですから(笑)。まだCMの完成版は見えていないのですが、勝先生も含めて、3人の共演シーンがどう仕上がるのか、本当に楽しみです。

時代劇は、昔の人々の生活や文化、人の「情」を現代に継承していくもので、何度見ても飽きない作品ばかり。ぜひCMを通じて時代劇に興味を持っていただけたらうれしいですね。

## 【中村玉緒 コメント】



(映像で)時代劇のかつらをつけたのは 40 年ぶりくらいで、とても懐かしかったです。

私は今年 80 歳になりましたけれども、女優として、自分の年齢にふさわしい役をもっとやりたくなりましたね。松平さんとまた一緒に現場になって、「あんた、生きててよかった〜」って言うのが、私の今の夢です。

主人が亡くなって 20 年以上たちますが、お仏壇には今も遺影を飾っています。CMの収録日も、お仏壇の前で、主人に「今日は松平さんとCMやるんです」と報告してきました。主人も喜んでいると思います。

松平さんは、若い頃からずっと礼儀正しい方で、今もよく挨拶に来ていただいたり、一緒に焼肉を食べに行ったり…。あと、(面と向かうと)今でも私を「奥さん」って呼んでくれるんです。一回くらい「玉緒さん」って呼んでくれてもいいよ(笑)。

## ■カツシンを蘇らせた最新CG技術



今回、勝新太郎「座頭市」の“復活”を可能にしたのは、実写映像で人物の「頭部のみ」を CG に置き換える「デジタルヒューマン (DIGITAL HUMAN)」 digitalhuman。という新技術。この CG 映像制作技術は、株式会社デジタル・フロンティア(東京都渋谷区)が開発し、2018 年公開の映画「いぬやしき」でも活用されました。

CM 収録では、勝新太郎に似た体格のアクションアクター、吉田浩之氏に、頭部を覆う青いフードを被って座頭市を演じてもらい、通常の実写と同様に映像を撮影。また、最新のレーザー測定器などを使って撮影対象の光・照明・物理的距離といった情報を複眼的に測定しました。このデータを用いることで、実写映像の中に CG の「頭部」を違和感なく溶け込ませることを可能にしています。

CG の「座頭市」に別途撮影したアクターの表情をデータ化して流し込み、測定データを基に光や色の補正を重ねて、撮影された実写映像と合成、リアルさを追求していきました。デジタル・フロンティアの前川英章ディレクターは、「技術もさることながら、リアルさを追求するためには、映像の“基”となるアクターさんの演技力、再現力が不可欠です」と話しています。

## ■松平健・中村玉緒出演「時代劇専門チャンネル」テレビCMとは？

時代劇だけを24時間365日放送している有料専門チャンネル「時代劇専門チャンネル」(スカパー！、J:COMなどのCATVにて放送、視聴可能世帯約800万世帯)の認知度向上と加入促進を目的に、2018年7月から放送しているテレビCM。

第1弾(2018年7月～オンエア)では、松平さんが医師に、玉緒さんが看護師にそれぞれ扮し、「最近ワクワクがない」と訴える受診者に時代劇専門チャンネルを勧める—というやり取りを、コミカルに演じました。

第2弾「夫婦漫才篇」(2019年1月～オンエア)では、2人が関西弁で夫婦漫才に挑戦。玉緒さんが「ええ男ですやろ、うちのダンナですねん」と松平さんを褒めちぎり、松平さんが「何言うてんねん、お客さんの前で」と応酬するなど、息ぴったりのやり取りを披露しました。



CM第1弾



CM第2弾